

サービス付き高齢者向け住宅 検査・報告等について

令和7年1月 神奈川県住宅計画課

目次

- 1 高齢者住まい法改正の概要
- 2 完了報告・完了検査について
- 3 定期報告について
- 4 立入検査について
- 5 登録更新について
- 6 市町村への意見聴取手続き
- 7 情報提供システムの運営情報

1. 高齢者住まい法改正の概要(サ高住関係)

- ○省令改正 令和4年9月1日 施行通知:R4.8.18 老高発0818第2号 国住心第 341号
 - →・状況把握・生活相談サービスの常駐緩和
 - 運営情報の一部項目を開示必須、登録事項 へ追加
 - 5年更新時の変更が無い書類の添付省略
- ○県サ高住指針の改正令和4年12月20日
 - →上記改正の反映
- ○県サ高住指針の改正令和7年2月3日
 - →有料老人ホーム設置運営標準指導指針の改正 に対応するための箇所を改正

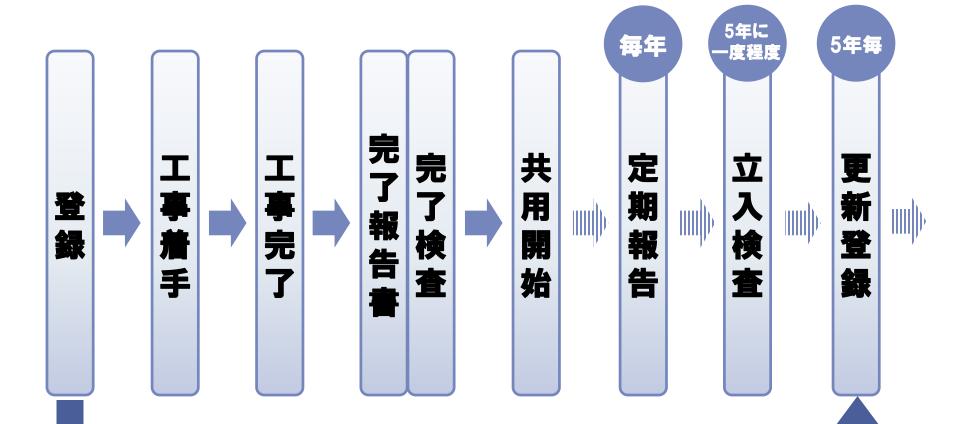
1. 高齢者住まい法改正の概要(サ高住関係)

指導指針(令和7年2月3日改正)の概要

- ○改正有料指針への対応

 - 業務継続計画の策定の義務付け高齢者が虐待防止に係る規定の拡充
- ○サ高住の運営実態に合わせた改正
 - ・職員の衛生管理に係る規定
 - ・非常災害対策に係る規定
 - 衛生管理に係る規定
 - 金銭管理に係る規定
 - 敷金の取り扱いに係る規定
- ○その他
 - 事故報告に係る取扱いの整理

(参考)登録後の主な流れについて



登録後、5年毎に更新が必要です

(令和6年度の更新対象は、平成26、31年度・令和元年度に登録した物件です)

2. 完了報告・完了検査について

1. 完了報告及び完了検査

【住宅計画課】

登録住宅の新築及び改良工事が完了した場合、「加齢対応構造等のチェックリスト」と写真を添付して、速やかに完了報告書(第 1 号様式)を県住宅計画課に提出してください。

なお、改良工事等を行わず、既存の住宅から登録住宅になった場合も同様です。 また、平成 29 年7月1日以降、工事が完了した登録住宅は、供用開始前に完了検 査を実施します。

*「加齢対応構造等のチェックリスト」及び完了報告書(第1号様式)は、巻末の資料を参照してください。また、様式は県ホームページ「サービス付き高齢者向け住宅の手続き等について(登録事業者向け)」の「報告・検査」からダウンロードできます。

<注意点>

登録の内容と現地の状況に相違がある場合は、改修や変更登録を行う必要があります。

2. 完了報告・完了検査について

完了報告書の記載方法、添付書類の注意点は県HPに掲載しています。

	サービス付き高齢者向け住宅完了	~ 報告書
		年 月 日
神奈川県知事	殿	平 月 日
	登録申請者住所又は	
	主たる事務所の所在地商号、名称又は氏名	印
	間方、右外又は八石	
年 月	日付 第 - 号でサービス付き	*高齢者向け住宅事業の登録を受
	了したため、高齢者の居住の安定確保	
	規定に基づき、同法第7条第1項第1 高齢者の居住の安定確保に関する法	
	の基準に適合するものであることを著	
住宅の名称		
所 在 地	(住居表示)	
工事完了日		
規模	□ 規則第8条に規定する基準に〕	適合する
構造及び設備	共同利用設備 □ 台所 □ 収	納設備 □ 浴室
特旦及び試開	□ 規則第9条に規定する基準に	適合する
加齢対応構造等	□ 法54条第1項第1号ロに規定	
734BIT X176 HT XE 47	□ 規則第10条に規定する基準にi	<u> 適合する</u> ←改良工事に該当する場合
※審査結果等		
	l .	
	に提出してください。工事完了日には 女良工事等がない場合(旧高専賃から	
録日を記載してく		ノー・エルの日 パックックック 切 寸 / (ま立)
	である場合には、代表者の氏名も記載	
	『行う場合には、押印を省略すること』 皆向け住宅の規模、構造及び設備、カ	
	ョ回り仕宅の規模、傳道及び設備、川 『及び加齢対応構造等チェックリスト	

○ 完了報告書 添付資料 (作成例)

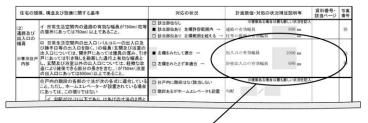
①加齢対応構造等チェックリスト

登録申請時の申請書および図面等により完成した建築物が基準に適合しているか別 紙チェックリストにて確認してください。また、登録事項等の変更に該当するか否かに ついては、指定登録機関とあらかじめ協議をお願いいたします。

2 写真

規模、構造及び設備、加齢対応構造等の基準に適合していることがわかる写真を添付 してください。例えば、加齢対応構造等チェックリストに寸法等を記載したものについ ては、遠景の写真とともに、その部位にメジャーをあてて数値がわかるようアップで撮 ってください

また、撮影場所がわかりづらい場合は、登録時の平面図面に写真番号を引き出して記 入するなどお願いします。





※ 事例は、登録住宅の完了報告書に添付された写真について許可を得て使用させていただいています。

3. 定期報告について

2. 定期報告

【住宅計画課】

4月1日時点において工事が完了している登録住宅の登録事業者等は、毎年、10月1日現在における登録事項の状況等について、サービス付き高齢者向け住宅定期報告書(第2号様式)により、電子メール又は郵送で、10月末日までに、県住宅計画課に定期報告を行ってください。

なお、定期報告は原則として登録事業者が行ってください。管理等受託者がある場合には、登録事業者がとりまとめて報告してください。

*定期報告書(第2号様式)は巻末の資料を参照してください。また、様式は県ホームページ「サービス付き高齢者向け住宅の手続き等について(登録事業者向け)」の「報告・検査」からダウンロードできます。

《お知らせ》

定期報告対象となるサ高住は、メールにて登録事業者あてに依頼しています。 未提出の場合は、早急にメール又は郵送でご提出をお願いいたします。 【今年度のが切は令和6年10月31日(月)】

3. 定期報告について

記載方法、添付書類の注意点は県HPに掲載しています。

第2号様式) 奈川県知事					適合性の有無		ください。(黄色セル部分)			
K) INCAP 4	報告日			D. W. C.		根拠 規定				
	登録事業者 住 所			の項目はその理由	はいだえ					
	代表者氏名			ప .		法7条 1項1号		祝	率(おおよその割合)	
				生労働省令で定		同1項 2号		 쉬 - 쉬	用者数/入居者数) %	-
	サービス付き高齢者向け住宅定期報告書(年度)			として国土交通	 	同1項		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	9/	
齢者の居	住の安定確保に関する法律第24条第1項の規定に基づき、次のとおり報告しま	す。				3号	95#11 -		70	
登録番号 神 登録年月日			る高齢者又は当		同1項 4号	85歳以上 90歳未満 90歳以上		%		
主宅の				ビス及び生活相		同1項		itan.		適合の理由
と宅 の					<u> </u>	5号 同1項 6号				
设告書記.						6号	4 5			
ファクシ				を行う場合に していない。		同1項 7号		□ 1日3回以上 その他		
登録内容	容等の報告 以下の内容について、報告年度の10月1日現在の状況を記入してください。(黄色:	セル部分)			 	Н		ISHL \		
項目	内 容	相違の有無		務を負うことと		同1項 8号		<u> </u>		
登録内容	- 堅と現況との相違の有無		根拠規定			同1項 9号				
すを「サート	(直近の登録事項) と現在の状況に相違があるか確認してください。相違が「あり」の項目は相違の内 ごス付き高齢者向け住宅の現状報告」に具体的に記載してください。】	ありなし		しく優良若しく		法15条		ださい。		
登録申請書 別紙)※	① サービス付き高齢者向け住宅の名称及び所在地		法第6条			\vdash		さい。		
	② サービス付き高齢者向け住宅事業を行う者(法人の場合は役員を含む。)		同条			法16条		ださい。		
	③ サービス付き高齢者向け住宅事業を行う者の事務所		同条	質及び契約内容 いる。		法17条				
	① サービス付き高齢者向け住宅の戸数、規模並びに構造及び設備		同条	v 'S.		\square				
	⑤ サービス付き高齢者向け住宅の入居契約、入居者資格及び入居開始時期		同条			法18条				
	⑥ サービス付き高齢者向け住宅において提供される高齢者生活支援サービス及び入居者から受領する金銭		同条			法19条		に関すること		
	⑦ サービス付き高齢者向け住宅の管理の方法等		同条			同条		との人間関係について		
	⑧ サービス付き高齢者向け住宅と併設される高齢者居宅生活支援事業を行う施設		同条	る 。		同条				
	⑨ 高齢者居宅生活支援事業を行う者との連携及び協力		同条	者の心身状況、		同条				
	⑩ 登録の申請が基本方針及び高齢者居住安定確保計画に照らして適切である旨		同条		 	同条		議会		
録申請書 引添1,2)※	⑪ 役員名簿		同条	いる。	 	同条				
録申請書 訓添3)※	② 専用部分の規模並びに構造及び設備等		同条	わせる場合の、	 	15376	せつ、食事等 [サービス			
мтит	③ 共同利用設備等		同条	当する場合の		同条		法をお答えください。		
録申請書 訓添 4)※	④ 状況把握及び生活相談サービスの内容		同条	<u> </u>	_	同条	カサービス			
	⑤ 食事の提供サービスの内容(該当する場合のみ)		同条	める表示につい	_	-				
	⑥ 入浴、排せつ、食事等の介護サービスの内容(該当する場合のみ)		同条			法20条	——			
	① 調理、洗濯、清掃等の家事サービスの内容(該当する場合のみ)		同条	(軽微な変更を いる。(該当す		同条	業所の場所 サービスを利用している人居 名数			
	® 健康管理サービスの内容 (該当する場合のみ)		同条			Щ	本171 マグラ朝771 名数	3~50 60~		
在市課 事	③ その他のサービスの内容(該当する場合のみ)		同条							
登録申請書 (その他)			Ш	の内容と異な	る状況の場	合		対応を乗れ		
			Ш	で、指定登録機	#問【(小光:	+団壮		:対応を委託		
				7 ()日尼豆鄉依	RON (1/2/mil)	ATELLA		対応を委託		
登録時に	提出されました登録申請書の別紙、別添1~4の内容を参照し、ご回答ください。							-/1/WC XIII		

4. 立入検査について

3. 立入検査

【高齢福祉課及び住宅計画課】

登録住宅の運営開始後、住宅の構造・設備や高齢者生活支援サービスの提供状況が 登録内容どおりとなっているか、また、関係法令等に基づき適切に運営されているか 等を確認するため、立入検査を行います。

当日ご用意いただく関係書類等の他、事前に提出していただく資料が県ホームページに掲載されますのでご確認の上、ご協力をお願いします。

【資料送付先:高齢福祉課】

*提出資料等は、上記の「サービス付き高齢者向け住宅の手続き等について(登録事業者向け)」の「報告・検査」で、「有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の検査等について」にアクセスしてダウンロードすることができます。

《お知らせ》

立入検査対象となるサ高住には、<u>検査日の約1カ月前に登録事業者あてに通知</u>しています。通知をご確認いただき、当日の検査立会いとともに、 事前提出資料等の提出を忘れずに行ってください。

4. 立入検査について

主な指導事項(例)



出入口の幅員が不足している

扉の改修や、出入口付近に什器を設置したために幅員が不足している例が見られました。



共同利用設備に該当する台所のコンロが使えない状態になっている。

コンロの利用が少ない物件で、食器や花瓶などを置いているケースが見られました。 各住戸への設置に代えて共同台所を設けている場合、常時使える状態を維持して下さい。



共同利用設備を、休憩室や事務スペースとして事業者が使用している

共同利用設備は、原則として入居者がいつでも自由に利用できなければいけません。 談話室・多目的室や食堂の一部を、職員用の休憩・事務のスペースに利用することはできませ ん。また、管理のため施錠や利用時間の制限をしているケースも見られましたが、入居者の申 出があった場合はすぐ使える体制が必要になります。

4. 立入検査について

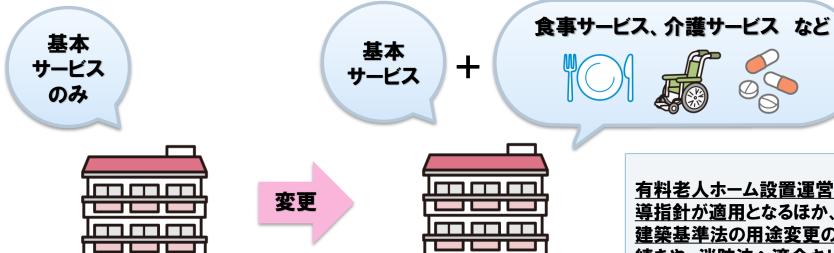
主な指導事項(例)



^つ 登録内容と異なるサービスを提供している

基本サービス(安否確認・生活相談)のみを提供しているサ高住が、食事サービスや介護 サービスなど、他のサービスを提供する場合は、有料老人ホームに該当することになります。

※今年度、有料老人ホーム非該当→該当となるケースがありました。改めてご提供されている サービスをご確認いただき、登録内容と異なる場合等は高齢福祉課にご相談ください。



有料老人ホーム該当

有料老人ホーム設置運営指 導指針が適用となるほか、 建築基準法の用途変更の手 続きや、消防法へ適合させ るなど、構造・設備の改修が 必要となる場合もあります。

有料老人ホーム非該当

5. 登録更新について

登録の更新(法第5条第2項~第4項)

有効期間の5年間を経過した後もサ高住として運営する場合は、有効期間満了日までに登録の更新申請を行ってください。

有効期間満了日の1カ月前を目途に、余裕をもって手続きしてください。

《お知らせ》

令和4年9月1日から、提出した書類から<u>変更がない</u>添付書類を省略することが可能となりました。

更新登録対象となるサ高住については、満了日の約半年~1カ月 前に登録事業者あて

に通知しています。<u>更新登録を行わないと、サ高住として運営出来</u>なくなりますので、

遅れずに手続きしてください。

6. 市町村への意見聴取手続き

5. 補助金交付申請

- ※補助金の概要については、P.15(「5 国等による支援制度について」)参照
- (1) 市町村への意見聴取(サービス付き高齢者向け住宅整備事業)

補助金の交付申請をする際に、意見聴取が必要な市町村があります。計画地が意見聴取の必要な市町村に該当する場合、以下の手続きが必要となります。なお、意見聴取が必要な市町村は「サービス付き高齢者向け住宅整備事業事務局」ホームページ(http://www.koreisha.jp/service/iken/iken14.html)で確認してください。

※意見聴取が不要とされている市町村の場合は、交付申請のみとなります。

サービス付き高齢者向け住宅整備事業

HOME>市区町村の意見聴取に関して>意見聴取の要否

意見聴取を必要とする市区町村

横浜市 川崎市 相模原市 厚木市 伊勢原市 座間市 南足柄市

寒川町 中井町 大井町 松田町 湯河原町

県内では 12市町で 意見聴取が 必要です (令和4年9月末時点)

Kanagawa Prefectural Government http://www.pref.kanagawa.jp/docs/zm4/satsuki/ikenchosyu.html

7. 情報提供システムの運営情報

サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム運営情報の入力・更新にご協力ください。

入居者が適切にサービスを選択できる環境を整えるため、国はサ高住の入居情報や、介護・医療サービスの利用状況などといった運営情報を平成29年5月より新たにホームページで広く情報提供することとしました。

国の建設費補助を受ける場合は、既存も含めて運営情報の公開を行うことが要件化されていますが、公開していない既存の登録住宅や国補助を受けない新たな登録住宅についても、積極的な情報公開を行っていただきますよう、お願いします。

住宅によって、受けられる サービスは、かなり違うのね。 私に合ったところを探してみよう!

写真があるところは、 暮らしがイメージできて安心ね



住み始めた後に、 追加でかかる費用が わかるから安心ね

7. 情報提供システムの運営情報

ご入力いただく主な運営情報項目

●全ての入力項目などの詳細は、下記URLをご参照ください。 http://www.shpo.or.jp/news/topic/353?page_category=single

- 入居者情報
 - ●入居者の要介護度・年代・男女別人数
- 2-1 生活支援共通サービス
 - ●生活支援サービス費等に含まれる基本サービス(追加費用なし)
 - ●状況把握、生活相談、緊急時対応
 - ●フロントサービス、短時間家事援助等
- 生活支援オプションサービス
 - ●食事の提供(身体状況に応じた食事への対応の不可等)
 - ●サービス費用の発生する個別生活支援サービス (外出の介添え、家事援助、洗濯物の代行等)

- 3 建物の特徴
- 介護・医療サービスの対応状況等
 - ●入居者と直近1年間の入退去者数
 - ●認知症、看取りへの対応(任意)
 - ●医療処置を必要としている入居者に対する対応や体制、特徴(任意)
 - ●介護サービス利用者人数(任意)
- 事業所の運営方針を示す項目
 - サ高住の運営方針、入居者の権利擁護、研修実施体制等

運営情報の表示について……

- ●登録情報における検索一覧画面に、 新たに「運営情報」の欄を設け、アイコンをクリックすると情報が閲覧できるようになります。
- ●既存の登録情報(詳細ページ)からも タブをクリックすることで運営情報を 閲覧できます。

【情報提供システム検索一覧から】

運営情報欄を新設



運営情報表示イメージ ※実際の表示画面とは異なります。



https://www.satsuki-jutaku.jp/about_op.html#op4

登録等の手引きについて

手引きは、県ホームページからもダウンロードできます。



http://www.pref.kanagawa.jp/docs/zm4/satsuki/top.html#tetuduki

登録等の手引き

神奈川県では県所管区域(注意1)でサ高住を登録する事業者向けに、手引きを作成しました。

本手引きは、サ高住の登録、報告に関する手続きや留意点、県などのホームページに公開されている情報をまとめておりますの

で、日々の業務にお役立てください。

注意1:県所管区域:政令・中核市(横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市)を除く市町村

サービス付き高齢者向け住宅登録等の手引き (PDF: 2,387KB) き

く注意〉

補助制度や法令等の改正状況は、 それぞれの最新情報をご確認ください。

